

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 2021年2月1日～2022年11月30日

活動名	大田区立赤松小学校 東急建設株式会社連携 学校環境保全林再生	
活動団体名	非営利型一般社団法人 Silva (シルワ)	
活動目的	2021年2月より、東急建設(株)の依頼を受け、赤松小学校の移築工事期間中に学校環境保全林の再生プランを構想。2025年の完成まで大型プランターでミニ森の育成を推進し、校庭が整い次第、移植を計画。	
活動内容	大田区立赤松小学校では、140年が経過する中で耐震の為に新校舎の建設が東急建設(株)受託により推進されている。この度、同社より赤松小学校へ寄贈の流れで学校環境保全林の再生に着手が採択され、当法人が請け負う。一部資材は、当法人の次世代育成事業助成金を繋げ、表面積 1㎡の大型プランターを全 10 個用意する目標。2022年11月に5個への大地再生を東急建設(株)と実施し、2023年4月に植樹予定。	
活動写真		
写真説明	2022年2月1日植生調査時(木ポーズ)	2022年11月24日土壌手当
活動効果	本プロジェクトは、2019年に湘南国際村めぐりの森植樹祭へ参加された東急建設(株)のご縁にて発足。赤松小学校の新校舎の完成予定 2025年に校庭へ移植する構想。東急建設(株)から同校への寄贈として学校環境保全林の再生の為、大田区や自治会・同校関係各者へ同社より理解を促し推進中。その過程で確実に森への理解層が増える無理のないプロジェクト。	
今後の展望	現段階では、工事中であり、児童との直接的な交流はないが、校舎完成後には、官民連携となるプロジェクトとしての可能性を大きく秘める。当法人が担う役割も時間の経過と共に進化する予想。	